

令和3年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		佐賀県		市町村類型		1－3		指定団体等の指定状況		区分		令和3年度(千円)	令和2年度(千円)	区分		令和3年度(千円・%)	令和2年度(千円・%)							
								財政健全化等	×	歳入総額	25,282,209	26,875,926	実質収支比率	3.1	3.4									
市町村名		小城市		地方交付税種地		2-3		財源超過	×	歳出総額	24,539,030	26,348,276	経常収支比率	88.3	92.5									
								首都	×	歳入歳出差引	743,179	527,650	(※1)	(91.2)	(96.1)									
								近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	349,726	121,905	標準財政規模	12,569,997	12,083,791									
									×	実質収支	393,453	405,745	財政力指数	0.41	0.42									
人口		令和2年国調(人)	43,952 <th colspan="4" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <td>×</td> <th>単年度収支</th> <td>-12,292</td> <td>-112,146</td> <th>公債費負担比率</th> <td>14.6</td> <td>18.0</td>	産業構造 (※5)				中部	×	単年度収支	-12,292	-112,146	公債費負担比率	14.6	18.0									
		平成27年国調(人)	44,259 <th>過疎</th> <td>○</td> <th>積立金</th> <td>370,491</td> <td>912</td> <th>健全化判断比率</th> <td></td> <td></td>					過疎	○	積立金	370,491	912	健全化判断比率											
		増減率 (％)	-0.7 <th>山振</th> <td>×</td> <th>繰上償還金</th> <td>70</td> <td>315,038</td> <th>実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>					山振	×	繰上償還金	70	315,038	実質赤字比率	-	-									
住民基本台帳人口 (※7)		令04.01.01(人)	44,639 <th rowspan="2">区分</th> <th>令和2年国調</th> <td>1,462</td> <th>平成27年国調</th> <td>1,819</td> <th>低開発</th> <td>×</td> <th>積立金取崩し額</th> <td>0</td> <td>65,994</td> <th>連結実質赤字比率</th> <td>-</td> <td>-</td>	区分	令和2年国調	1,462	平成27年国調	1,819	低開発	×	積立金取崩し額	0	65,994	連結実質赤字比率	-	-								
		うち日本人(人)	44,415		第1次	6.7	8.2 <th></th> <td></td> <th>実質単年度収支</th> <td>358,269</td> <td>137,810</td> <th>実質公債費比率</th> <td>7.4</td> <td>6.9</td>			実質単年度収支	358,269	137,810	実質公債費比率	7.4	6.9									
		令03.01.01(人)	44,953 <th rowspan="2">第2次</th> <th>うち日本人(人)</th> <td>44,658</td> <th></th> <td></td> <th></th> <td></td> <th></th>	第2次	うち日本人(人)	44,658							将来負担比率	-	-									
		増減率 (％)	-0.7 <th>第3次</th> <td>14,928</td> <td>15,009</td> <th></th> <td></td> <th></th>		第3次	14,928	15,009					<td></td> <th><td></td></th>		<td></td>										
		うち日本人(%)	-0.5 <th></th> <td>68.8</td> <td>68.0</td> <th></th> <td></td> <th></th>		68.8	68.0					<td></td> <th><td></td><th><td></td></th></th>		<td></td> <th><td></td></th>		<td></td>									
		面積 (km ²)	95.81						<td></td> <th><td></td><th><td></td><th><td></td><th><td></td></th></th></th></th>		<td></td> <th><td></td><th><td></td><th><td></td></th></th></th>		<td></td> <th><td></td><th><td></td></th></th>		<td></td> <th><td></td></th>		<td></td>							
		人口密度 (人/km ²)	459								<td></td> <th><td></td><th><th><th><th></th></th></th></th></th>		<td></td> <th><th><th><th></th></th></th></th>		<th><th><th></th></th></th>	<th><th></th></th>	<th></th>							
世帯数 (世帯)	15,907																							
職員の状況																								
特別職等	区分		定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分		職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	18,236,081	17,962,690											
	市区町村長		1	8,230 <th colspan="2">一般職員</th> <td>341</td> <td>1,006,632</td> <td>2,952</td> <th>うち公的資金</th> <td>13,213,392</td> <td>12,150,125</td> <th colspan="4"></th>		一般職員		341	1,006,632	2,952	うち公的資金	13,213,392	12,150,125											
	副市区町村長		1	6,590 <th colspan="2">うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th>地方債現在高(臨時財政対策債除き)</th> <td>11,044,820</td> <td>10,457,548</td> <th colspan="4"></th>		うち消防職員		-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	11,044,820	10,457,548											
	教育長		1	5,980 <th colspan="2">うち技能労務職員</th> <td>34</td> <td>101,320</td> <td>2,980</td> <th>債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>7,496,137</td> <td>8,518,373</td> <th colspan="4"></th>		うち技能労務職員		34	101,320	2,980	債務負担行為額(支出予定額)	7,496,137	8,518,373											
	議会議長		1	4,600 <th colspan="2">教育公務員</th> <td>7</td> <td>23,355</td> <td>3,336</td> <th>収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td> <th colspan="4"></th>		教育公務員		7	23,355	3,336	収益事業収入	-	-											
	議会副議長		1	4,010 <th colspan="2">臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <th>土地開発基金現在高</th> <td>1,265,164</td> <td>1,265,164</td> <th colspan="4"></th>		臨時職員		-	-	-	土地開発基金現在高	1,265,164	1,265,164											
	議会議員		18	3,740 <th colspan="2">合計</th> <td>348</td> <td>1,029,987</td> <td>2,960</td> <th>財政調整基金</th> <td>2,424,780</td> <td>1,754,289</td> <th colspan="4"></th>		合計		348	1,029,987	2,960	財政調整基金	2,424,780	1,754,289											
						減債基金					積立金現在高	2,150,429	2,177,689											
						ラスバイレス指数				96.9	その他特定目的基金	13,269,710	13,512,681											
一般会計等の一覧																								
項番		会計名		事業会計の一覧		会計名		公営企業(法適)の一覧		会計名		公営企業(法非適)の一覧		会計名		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		(※3)				
				項番				項番				項番				項番		組合等名			項番		団体名	
(1)		一般会計		(2)		国民健康保険特別会計		(4)		水道事業会計						(7)		天山地区共同衛生処理場組合						
				(3)		後期高齢者医療特別会計		(5)		病院事業会計						(8)		天山地区共同斎場組合						
								(6)		下水道事業会計						(9)		佐賀中部広域連合						
																(10)		佐賀県後期高齢者医療広域連合						
																(11)		佐賀県市町総合事務組合						
																(12)		天山地区共同環境組合						
																(13)		佐賀西部広域水道企業団						
																(14)		多久小域医療組合						

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(－)としている)。
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	4,402,941	17.4	4,402,941	35.5	普通税	4,402,887	100.0	39,958	
地方譲与税	143,049	0.6	143,049	1.2	法定普通税	4,402,887	100.0	39,958	
利子割交付金	3,992	0.0	3,992	0.0	市町村民税	2,141,721	48.6	39,958	
配当割交付金	20,690	0.1	20,690	0.2	個人均等割	80,308	1.8	—	
株式等譲渡所得割交付金	21,141	0.1	21,141	0.2	所得割	1,845,871	41.9	—	
分離課税所得割交付金	—	—	—	—	法人均等割	75,518	1.7	—	
地方消費税交付金	980,856	3.9	980,856	7.9	法人税割	140,024	3.2	39,958	
ゴルフ場利用税交付金	—	—	—	—	固定資産税	1,774,356	40.3	—	
特別地方消費税交付金	—	—	—	—	うち純固定資産税	1,772,490	40.3	—	
自動車取得税交付金	—	—	—	—	軽自動車税	175,594	4.0	—	
軽油引取税交付金	—	—	—	—	市町村たばこ税	311,216	7.1	—	
自動車税環境性能割交付金	8,768	0.0	8,768	0.1	鉱産税	—	—	—	
法人事業税交付金	44,009	0.2	44,009	0.4	特別土地保有税	—	—	—	
地方特例交付金等	81,110	0.3	81,110	0.7	法定外普通税	—	—	—	
個人住民税減収補填特例交付金	37,680	0.1	37,680	0.3	目的税	54	0.0	—	
自動車税減収補填特例交付金	2,883	0.0	2,883	0.0	法定目的税	54	0.0	—	
軽自動車税減収補填特例交付金	2,385	0.0	2,385	0.0	入湯税	54	0.0	—	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	38,162	0.2	—	—	事業所税	—	—	—	
地方交付税	7,341,162	29.0	6,612,422	53.3	都市計画税	—	—	—	
普通交付税	6,612,422	26.2	6,612,422	53.3	水利地益税等	—	—	—	
特別交付税	728,740	2.9	—	—	法定外目的税	—	—	—	
震災復興特別交付税	—	—	—	—	旧法による税	—	—	—	
(一般財源計)	13,047,718	51.6	12,318,978	99.3	合計	4,402,941	100.0	39,958	
交通安全対策特別交付金	8,051	0.0	8,051	0.1					
分担金・負担金	60,929	0.2	—	—					
使用料	142,683	0.6	5,480	0.0					
手数料	94,277	0.4	12,681	0.1					
国庫支出金	5,443,769	21.5	—	—					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	—	—	—	—					
都道府県支出金	1,818,465	7.2	—	—					
財産収入	56,873	0.2	6,218	0.1					
寄附金	1,286,191	5.1	—	—					
繰入金	303,569	1.2	—	—					
繰越金	251,200	1.0	—	—					
諸収入	416,817	1.6	48,417	0.4					
地方債	2,351,667	9.3	—	—					
うち減収補填債(特例分)	—	—	—	—					
うち猶予特例債	—	—	—	—					
うち臨時財政対策債	411,307	1.6	—	—					
歳入合計	25,282,209	100.0	12,399,825	100.0					

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等	
議会費	194,840	0.8	-	194,840	
総務費	3,632,159	14.8	838,753	1,799,410	
民生費	8,678,883	35.4	135,204	3,307,141	
衛生費	1,834,044	7.5	15,001	1,128,595	
労働費	10,180	0.0	-	180	
農林水産業費	987,908	4.0	277,682	539,347	
商工費	388,932	1.6	499	77,250	
土木費	1,892,591	7.7	344,070	1,509,274	
消防費	809,729	3.3	16,918	755,177	
教育費	3,575,102	14.6	1,730,941	1,973,109	
災害復旧費	400,717	1.6	-	102,228	
公債費	2,133,945	8.7	-	2,073,500	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	24,539,030	100.0	3,359,068	13,420,051	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	11,483,287	46.8	6,315,652	6,248,684	48.8
人件費	3,393,960	13.8	3,052,078	2,991,880	23.4
うち職員給	2,047,003	8.3	1,831,214	-	-
扶助費	5,955,382	24.3	1,190,074	1,183,304	9.2
公債費	2,133,945	8.7	2,073,500	2,073,500	16.2
元利償還金	2,133,942	8.7	2,073,497	2,073,497	16.2
内訳	2,078,276	8.5	2,017,831	2,017,831	15.8
うち元金	55,666	0.2	55,666	55,666	0.4
うち利子	3	0.0	3	3	0.0
一時借入金利子	9,295,958	37.9	6,306,421	5,063,566	39.5
その他の経費	3,713,771	15.1	1,714,821	1,574,720	12.3
物件費	60,759	0.2	28,409	27,683	0.2
維持補修費	3,345,431	13.6	2,814,512	2,139,440	16.7
補助費等	1,065,219	4.3	981,445	971,191	7.6
うち一部事務組合負担金	1,656,042	6.7	1,363,489	1,320,164	10.3
繰出金	400,475	1.6	374,930	-	-
積立金	119,480	0.5	10,260	1,559	0.0
投資・出資金・貸付金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	3,759,785	15.3	797,978	-	-
投資的経費計	76,824	0.3	73,132	-	-
うち人件費	3,359,068	13.7	695,750	-	-
普通建設事業費	2,003,282	8.2	85,055	-	-
うち補助	1,249,188	5.1	528,200	-	-
うち単独	400,717	1.6	102,228	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	24,539,030	100.0	13,420,051	-	-
歳出合計					

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	25,282	24,539	743	393		18,236	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
	計一般会計等(純計)	25,282	24,539	743	393		18,236	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうちの一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	国民健康保険特別会計	5,248	5,129	119	119	303				
2	後期高齢者医療特別会計	576	566	10	10	155				
3	水道事業会計	298	275	23	1,172	3	284	2		法適用企業
4	病院事業会計	1,924	1,227	697	2,303	167	103	22		法適用企業
5	下水道事業会計	1,792	1,542	250	260	1,105	13,818	981		法適用企業
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
	計公営企業会計等				3,864		14,205	1,005		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうちの一般会計等負担見込額	備考
1	天山地区共同衛生処理場組合	342	325	17	17	0			
2	天山地区共同斎場組合	68	62	6	6	4			
3	佐賀中部広域連合	5,727	5,610	117	117	234			
4	佐賀県後期高齢者医療広域連合	123	119	3	3	40			
5	佐賀県市町総合事務組合	3,731	3,507	223	223	10			
6	天山地区共同環境組合	310	317	▲ 7	▲ 7	0			
7	佐賀西部広域水道企業団	1,608	1,445	163	163	1			
8	多久小城医療組合	15	14	1	1	14			
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
	計一部事務組合等				523				

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

	地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
	計地方公社・第三セクター等									

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況					将来負担の状況												
実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）												
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	分母比	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	分母比	内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	分母比			
元利償還金	2,096,746	2,194,911	2,133,942	20.8	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	19,205,507	17,962,690	18,236,081	177.8	PFI事業に係るもの	-	-	-	-		
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	10,424	806,277	745,945	7.3	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-		
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額	13,354,327	13,255,646	12,813,890	124.9	国営土地改良事業に係るもの	-	800,010	742,866	7.2		
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	816,713	771,316	906,104	8.8		組合等負担等見込額	494,506	1,320,392	1,374,999	13.4	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	10,424	6,267	3,079	0.0		
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	93,174	94,575	109,404	1.1		退職手当負担見込額	2,425,196	2,314,174	2,391,820	23.3	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		
債務負担行為に基づく支出額（公債費に準ずるもの）	4,607	60,724	59,495	0.6		設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	-		
一時借入金の利子	40	-	-	-		うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-		
合計（A）	3,011,280	3,121,526	3,208,945			連結実質赤字額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-		
内訳	令和元年度	令和2年度	令和3年度	分母比		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-		
PFI事業に係るもの	-	-	-	-		合計（E）	35,489,960	35,659,179	35,562,735		その他上記に準ずるもの	-	-	-	-		
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充当可能 財源等	充当可能基金	15,875,045	16,633,288	16,540,453	161.2	下水道事業会計	-	13,156,813	12,740,474	124.2		
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	4,157	60,332	59,170	0.6		充当可能特定歳入	655,071	643,768	608,525	5.9	病院事業会計	97,441	96,801	71,713	0.7		
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額	21,312,940	21,015,630	21,013,307	204.8	水道事業会計	2,141	2,032	1,703	0.0		
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-		合計（F）	37,843,056	38,292,686	38,162,285								
損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-		将来負担比率（（E）-（F））／（（C）-（D））×100	-	-	-		その他の会計	13,254,745	-	-	-	-	
引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-	将来負担比率（（E）-（F））／（（C）-（D））×100	健全化判断比率	令和3年度	早期健全化基準	財政再生基準	公社・ 三セク等	地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	-		
その他上記に準ずるもの	-	-	-	-			実質赤字比率	-	12.99		20.00	土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	-	
利子補給に係るもの	450	392	325	0.0			連結実質赤字比率	-	17.99		30.00	地方独立行政法人に係る将来負担額	-	-	-	-	
特定財源の額	56,186	59,316	60,445				実質公債費比率	7.4	25.0		35.0	その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	-	
標準財政規模	11,762,701	12,083,791	12,569,997				将来負担比率	-	350.0								
算入公債費等の額	2,327,103	2,313,399	2,311,513														
（C）-（D）	9,435,598	9,770,392	10,258,484														
実質公債費比率	（単年度）	6.7	7.7	8.2													
（A）-（（B）+（D））／（（C）-（D））×100	（3年平均）	6.2	6.9	7.4													

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人	44,639	人(R4.1.1現在)	実	実	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	44,415	人(R4.1.1現在)	通	給	実	実	赤	字	比	率
面積	95.81	km ²	実	実	公	債	費	比	率	7.4
歳入総額	25,282,209	千円	得	来	負	担	比	率	-	%
歳出総額	24,539,030	千円	市	町	村	類	型	H29	I-3	H30
実収支	393,453	千円	(	年	度	毎	)	R02	I-3	R03
標準財政規模	12,569,997	千円								
地方債現在高	18,236,081	千円								

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

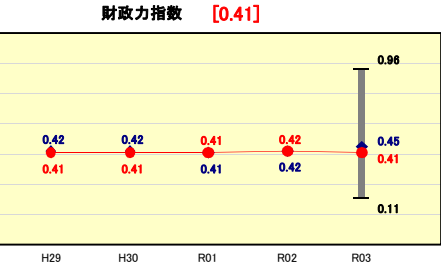
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力



類似団体内順位 28/52 全国平均 0.50 佐賀県平均 0.51

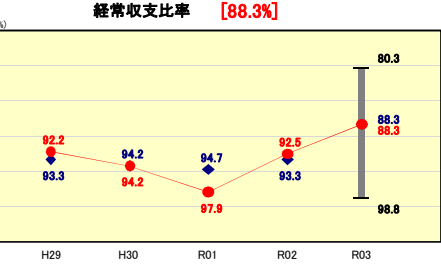
財政力指数の分析欄

前年度より0.01減少し、全前年度の数値に戻るなど依然として低い状況が続いている。

歳入面では、市税全体は増収傾向にあり、引き続き、税の適正化及び徴収強化等による税収増加等、歳入確保に努める。

歳出面では、行政評価の手法を用いた事業の取捨選択を徹底し、行政の効率化に努め、財政の健全化を図る。

財政構造の弾力性



類似団体内順位 23/52 全国平均 88.9 佐賀県平均 86.5

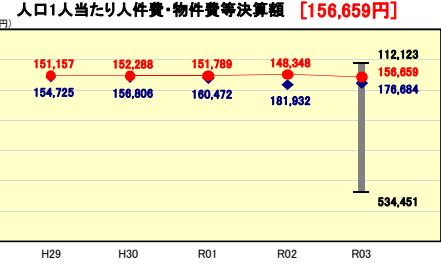
経常収支比率の分析欄

前年度から4.2%減少し、類似団体では平均的な数値となっている。

主な要因として、国税増収に伴う普通交付税の増額交付が影響している。

しかし、扶助費は年々増加傾向にあり、社会保障給付費を抑制するために、資格審査等の適正化や地方債の積極的な繰上償還等による償還金の抑制及び縮減に努める。また、行政評価の手法を活用した歳出の見直しを行っていくとともに、市税徴収の強化や新たな自主財源の確保に努める。

人件費・物件費等の状況



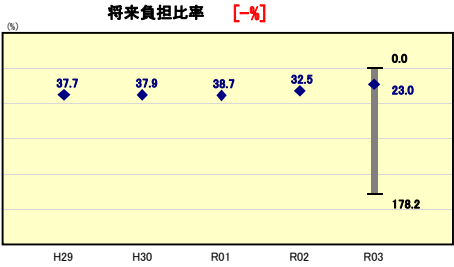
類似団体内順位 16/52 全国平均 155,088 佐賀県平均 163,486

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

前年度から8,311千円増加し、類似団体と比較すると20,025千円下回っている。

保有する公共施設等については、老朽化に伴い修繕料等が増加することが見込まれるため、今後も保育所等の民営化等を進め、コストの低減を図っていく方針である。

将来負担の状況



令和3年度

佐賀県小城市

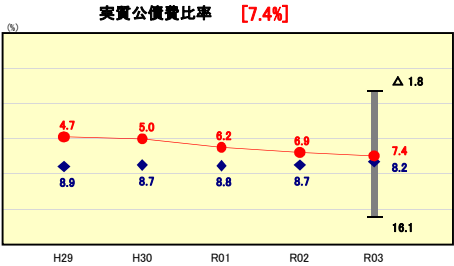
類似団体内順位 1/52 全国平均 15.4 佐賀県平均 0.0

将来負担比率の分析欄

前年度に引き続き表示されていない。

財政調整基金及び減債基金並びにその他目的基金の積立金等による充当可能財源が将来負担額を上回っているため、表示されていない。今後も充当可能財源の確保とともに、将来世代への負担を少しでも軽減するよう財政健全化に努める。

公債費負担の状況



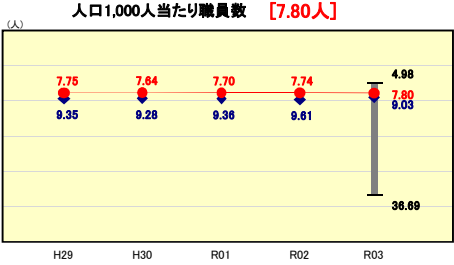
類似団体内順位 25/52 全国平均 5.5 佐賀県平均 6.9

実質公債費比率の分析欄

前年度から0.5%上昇しているが、類似団体と比較すると0.8%下回っている。

ここ数年、市債の繰上償還を積極的に行っており、今後も償還額の平準化及び実質公債比率の急激な上昇の防止に努める。

定員管理の状況



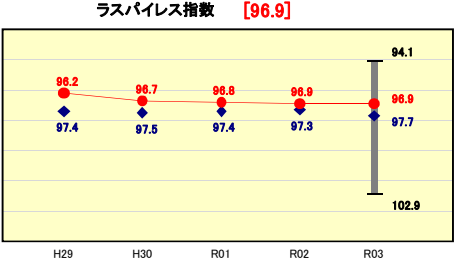
類似団体内順位 13/52 全国平均 8.21 佐賀県平均 7.71

人口1,000人当たり職員数の分析欄

前年度から0.04人増加し、類似団体と比較すると1.87人下回っている。

今後も事務事業の見直しを進めるとともに、効率的な行政運営を図り、適正な定員管理に努める。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 21/52 全国市平均 98.8 全国町村平均 96.3

ラスパイレース指数の分析欄

前年度から0.1ポイント上昇しているが、類似団体平均と比較すると0.4ポイント下回っている。

今後も継続的に職務及び職質に応じた給与体系の見直し等に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

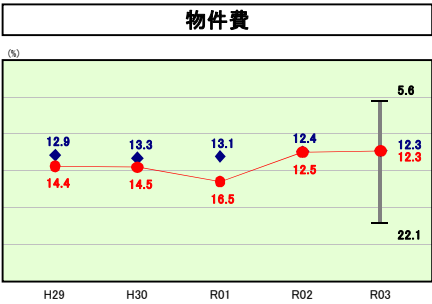
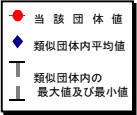
経常収支比率の分析

人	口	44,639	人 (R4.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%				
うち	日本	44,415	人 (R4.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率				
面	積	95.81	km ²	実	質	公	債	費	比	率	7.4 %				
歳	入	25,282,209	千円	得	来	負	担	比	率	-	%				
歳	出	24,539,030	千円	市	町	村	類	型	H29	I-3	H30	I-3	R01	I-3	
実	質	収	支	393,453	千円	市	町	村	類	H29	I-3	H30	I-3	R01	I-3
標準	財政	規模	12,569,997	千円	市	町	村	類	H29	I-3	H30	I-3	R01	I-3	
地方	債	現在	高	18,236,081	千円	市	町	村	類	H29	I-3	H30	I-3	R01	I-3

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位
28/52

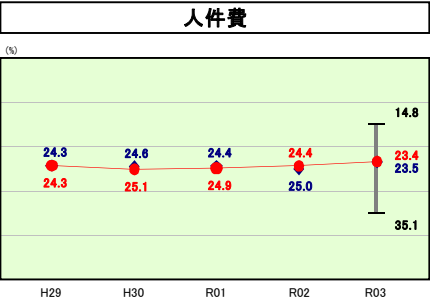
全国平均
13.8

佐賀県平均
11.6

物件費の分析値

前年度から0.1%減少し、類似団体平均と同値となっている。

主な要因は、令和2年度がタブレット購入により増加し、今年度その分が減額となったものの、フットボールセンター整備の委託料が増加したことが影響している。しかし、公共施設運営に係る経費は臨時的経費も含めると増加しており、今後の課題となっている。今後、公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の集約化・複合化を進める等により、施設保有量の適正化に努める。



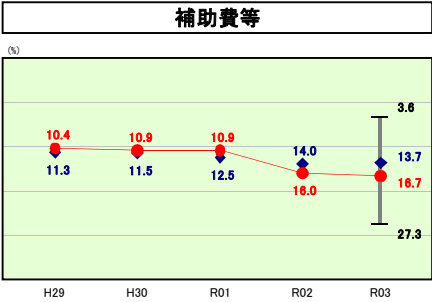
類似団体内順位
24/52

全国平均
25.2

佐賀県平均
23.0

人件費の分析値

前年度から1%減少し、類似団体平均と比較すると0.1%下回っている。給与制度の適正化や施設管理の在り方について、引き続き検討し、人件費の適正管理に努める。



類似団体内順位
36/52

全国平均
10.2

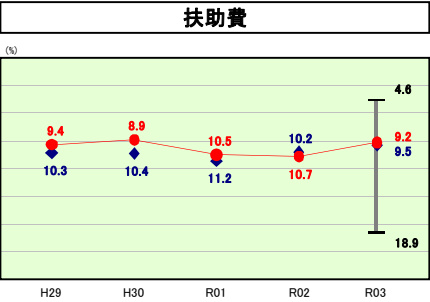
佐賀県平均
11.9

補助費等の分析値

前年度から0.7%上昇し、類似団体平均と比較すると3%上回っている。

増加している主な要因としては下水道事業会計への補助金が増加していることが挙げられる。

補助費等は、一部事務組合への負担金や市の一般単独補助金事業を含むため、事業の見直しや必要性及び効果の低い補助金の廃止等の精査に努める。



類似団体内順位
29/52

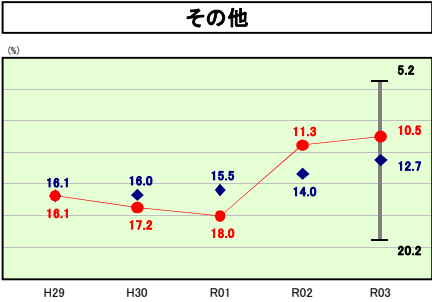
全国平均
12.0

佐賀県平均
10.7

扶助費の分析値

前年度から1.5%減少し、類似団体平均と比較すると0.3%下回っている。

扶助費は、主に介護給付費等の社会保障給付費が増加傾向にある。今後も少子高齢化により増加することが想定されているため、資格審査等適正化の見直しを進め、財政を圧迫する上昇傾向に歯止めをかけるよう努める。



類似団体内順位
10/52

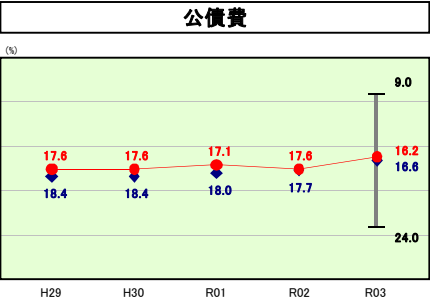
全国平均
12.0

佐賀県平均
13.0

その他の分析値

前年度から0.8%減少し、類似団体平均と比較すると2.2%下回っている。

主な要因としては、小中学校電子黒板一式賃借料の増加である。各種経費については、前述した取組等を実施していくことで、中長期的な財政の健全化を目指していく。



類似団体内順位
28/52

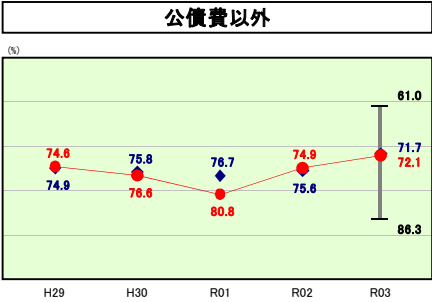
全国平均
15.7

佐賀県平均
16.3

公債費の分析値

前年度と比較すると1.4%減少し、類似団体平均と比較すると0.4%下回っている。

ここ数年、市債の繰上償還を行っており、昨年度は大規模な施設整備に対する市債の償還が開始したことにより微増となったものの、償還終了に伴って今年度は減少している。今後も施設整備等に対する市債の発行を予定しており、公債費の急激な上昇を抑制するため、繰上償還等を検討し、償還額の平準化に努める。



類似団体内順位
25/52

全国平均
73.2

佐賀県平均
70.2

公債費以外の分析値

前年度から2.8%減少し、類似団体平均と比較すると0.4%上回っている。

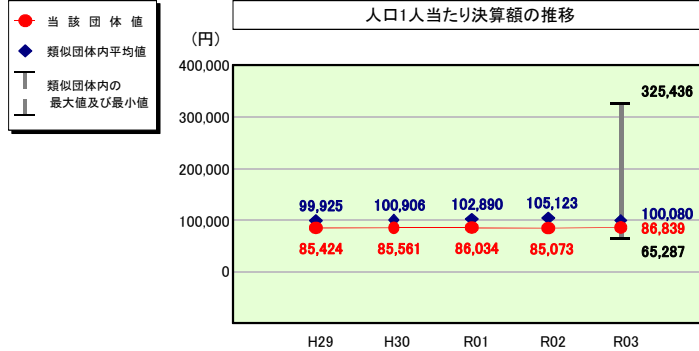
各種経費については前述した取組等を実施していくとともに、中長期的な財政の健全化を目指していく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

佐賀県小城市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

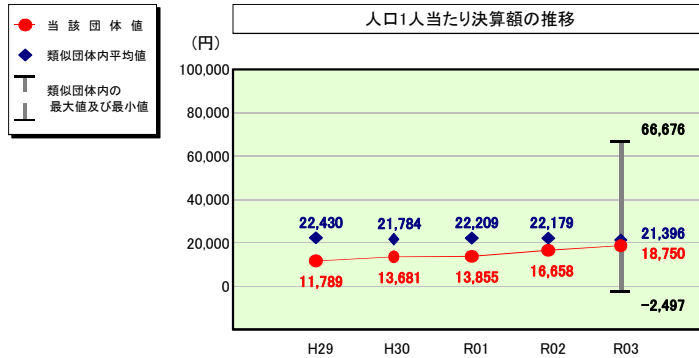
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	3,393,960	76,031	89,252	▲ 14.8
一部事務組合負担金(補助費等)	562,952	12,611	11,439	10.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	15,260	342	869	▲ 60.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	1	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	79,608	1,783	3,581	▲ 50.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	76,824	1,721	1,527	12.7
▲退職金	▲ 252,198	▲ 5,650	▲ 6,588	▲ 14.2
合計	3,876,406	86,839	100,080	▲ 13.2

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.80	9.03	▲ 1.23
ラスパイレズ指数	96.9	97.7	▲ 0.8

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

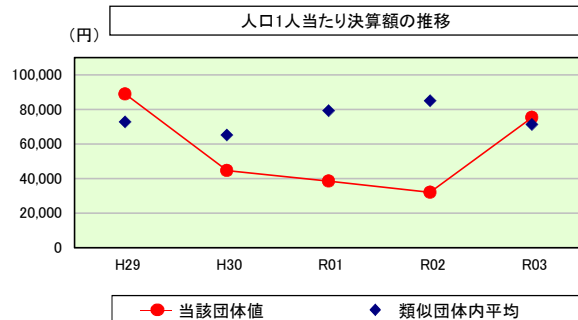


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,133,942	47,804	56,817	▲ 15.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	1	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	906,104	20,298	14,495	40.0
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	109,404	2,451	2,703	▲ 9.3
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	59,495	1,333	273	388.3
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 60,445	▲ 1,354	▲ 4,629	▲ 70.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 2,311,513	▲ 51,782	▲ 48,266	7.3
合計	836,987	18,750	21,396	▲ 12.4

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

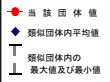
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H29	4,037,972	88,866	85.6	72,656	8.5	77.1
うち単独分	1,170,781	25,766	225.4	36,448	▲ 2.3	227.7
H30	2,022,257	44,538	▲ 49.9	65,080	▲ 10.4	▲ 39.5
うち単独分	648,620	14,285	▲ 44.6	38,201	▲ 4.8	▲ 49.4
R01	1,745,206	38,503	▲ 13.6	79,288	21.8	▲ 35.4
うち単独分	521,292	11,501	▲ 19.5	41,870	9.6	▲ 29.1
R02	1,441,341	32,063	▲ 16.7	84,962	7.2	▲ 23.9
うち単独分	497,392	11,065	▲ 3.8	42,793	2.2	▲ 6.0
R03	3,359,068	75,250	134.7	71,279	▲ 16.1	150.8
うち単独分	1,249,188	27,984	152.9	36,731	▲ 14.2	167.1
過去5年間平均	2,521,169	55,844	28.0	74,653	2.2	25.8
うち単独分	817,455	18,120	62.1	39,209	0.0	62.1

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和3年度

佐賀県小城市

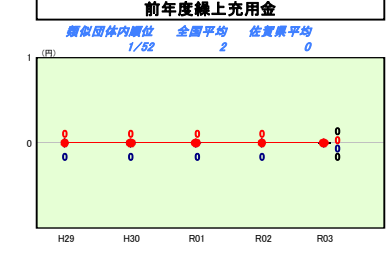
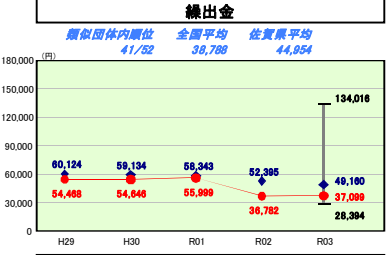
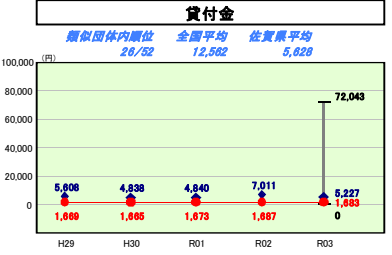
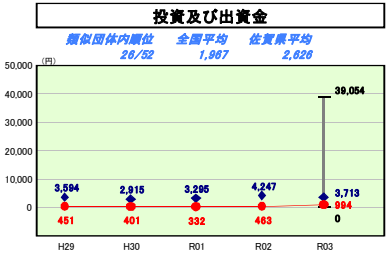
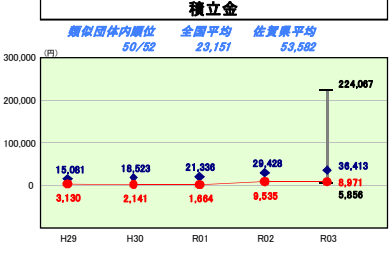
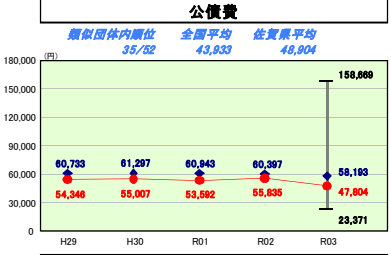
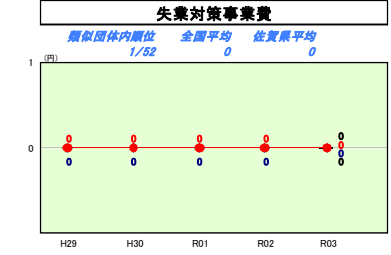
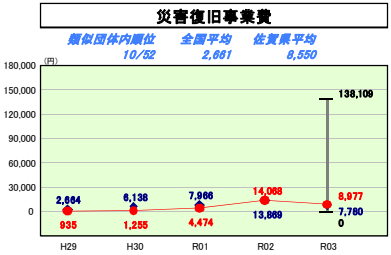
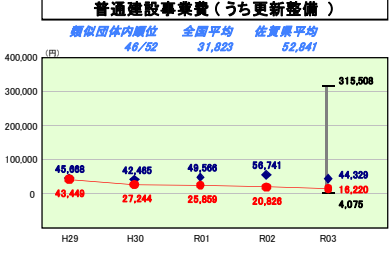
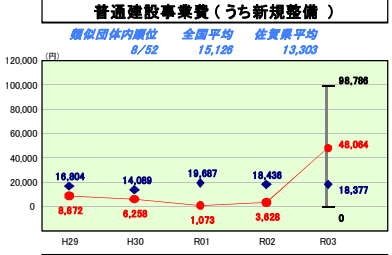
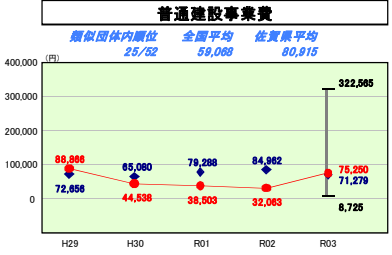
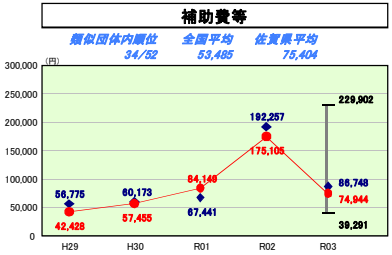
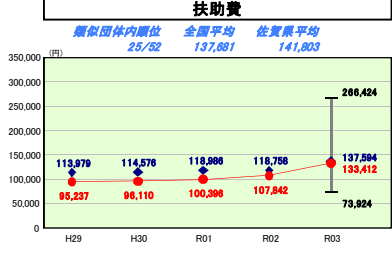
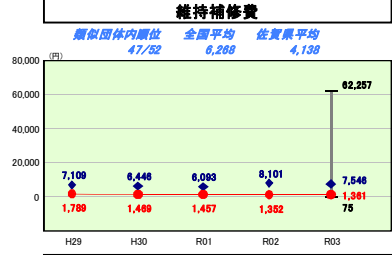
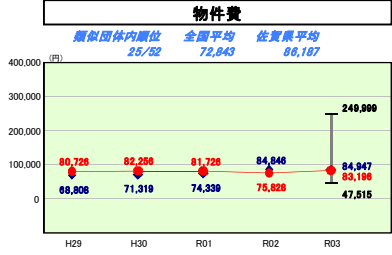
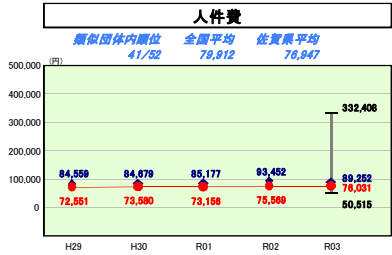
人口	44,630人(※4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	44,415人(※4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	95.81km ²	実質公債費比率	7.4	%
歳入総額	25,282,209千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	24,539,030千円	市町村類型	H29 I-3 H30 I-3 R01 I-3	
実質収支	393,463千円	(年度毎)	R02 I-3 R03 I-3	
標準財政規模	12,569,997千円			
地方債残高	18,236,081千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

歳出決算総額は、住民一人当たり549,722円となり、前年度より36,407円減少している。項目ごとにとみると、補助費が前年度より100,161千円と大幅減となっている。これは、前年度に新型コロナウイルス感染症対策として住民及び事業者等に向けた補助金交付を行ったため増額し、今年度は補助金交付がなかったためである。また、普通建設事業費(うち新規整備)が前年度より44,436千円と大幅に増加している。庁舎防災機能強化事業や、フットボールセンター整備事業、学校給食センター改築事業、大型事業が要因となり金額が増加したことが影響している。その他の項目については、類似団体平均を下回っているものの、扶助費は年々増加している。

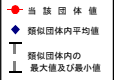
今後は公共施設の老朽化に伴い、維持補修費及び普通建設事業費が増加することが予想されるため、公共施設等総合管理計画に基づき、事業の取捨選択、事業費も見直しを行うことで、中長期的な財政の健全化に努める。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和3年度

佐賀県小城市

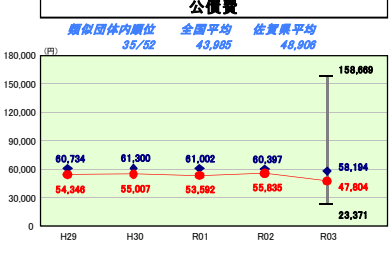
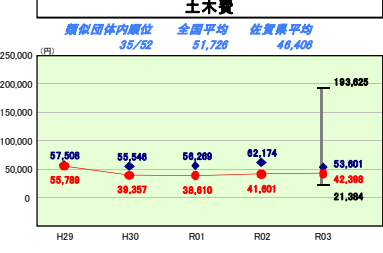
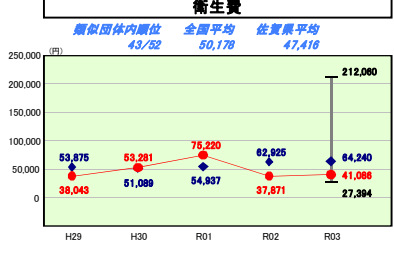
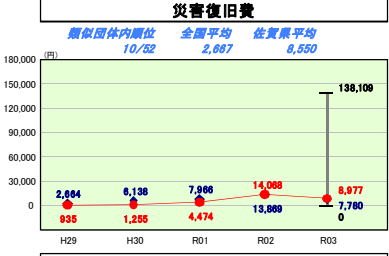
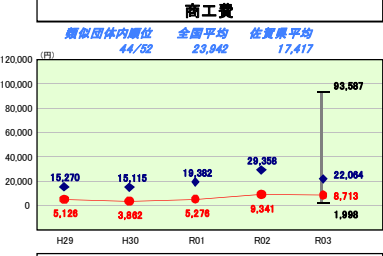
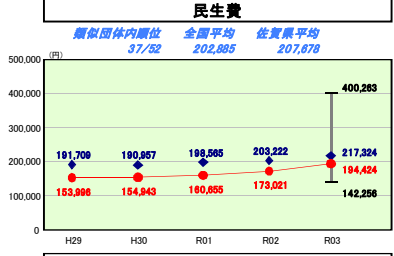
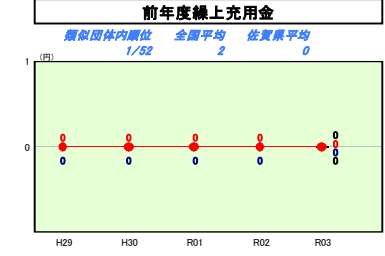
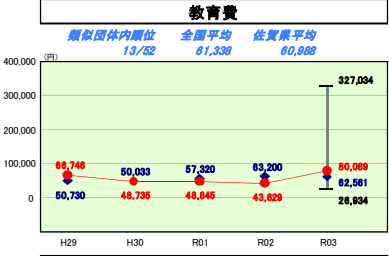
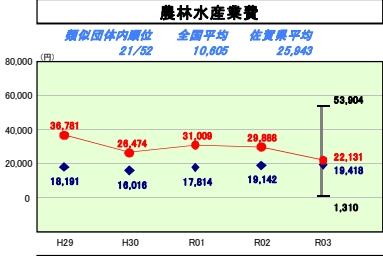
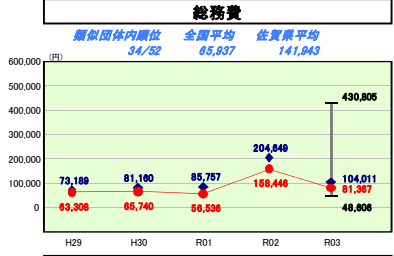
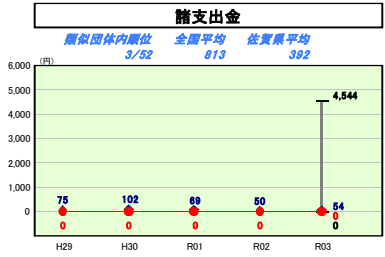
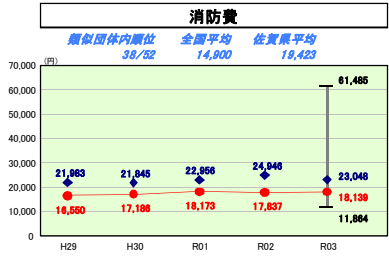
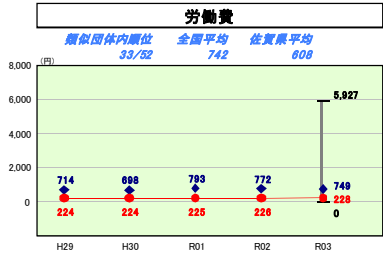
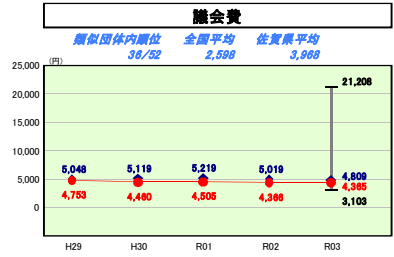
人	44,639人(R4.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	44,415人(R4.1.1現在)	通 算 実 質 赤 字 比 率	-	%
面積	95.81km ²	実 質 公 債 費 比 率	7.4	%
歳入総額	25,282,209千円	得 来 負 担 比 率	-	%
歳出総額	24,539,030千円			
実 収 支	393,463千円			
標準財政規模	12,569,997千円			
地方債残高	18,236,081千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

公債費は繰上償還や償還終了に伴い、減額となっている。

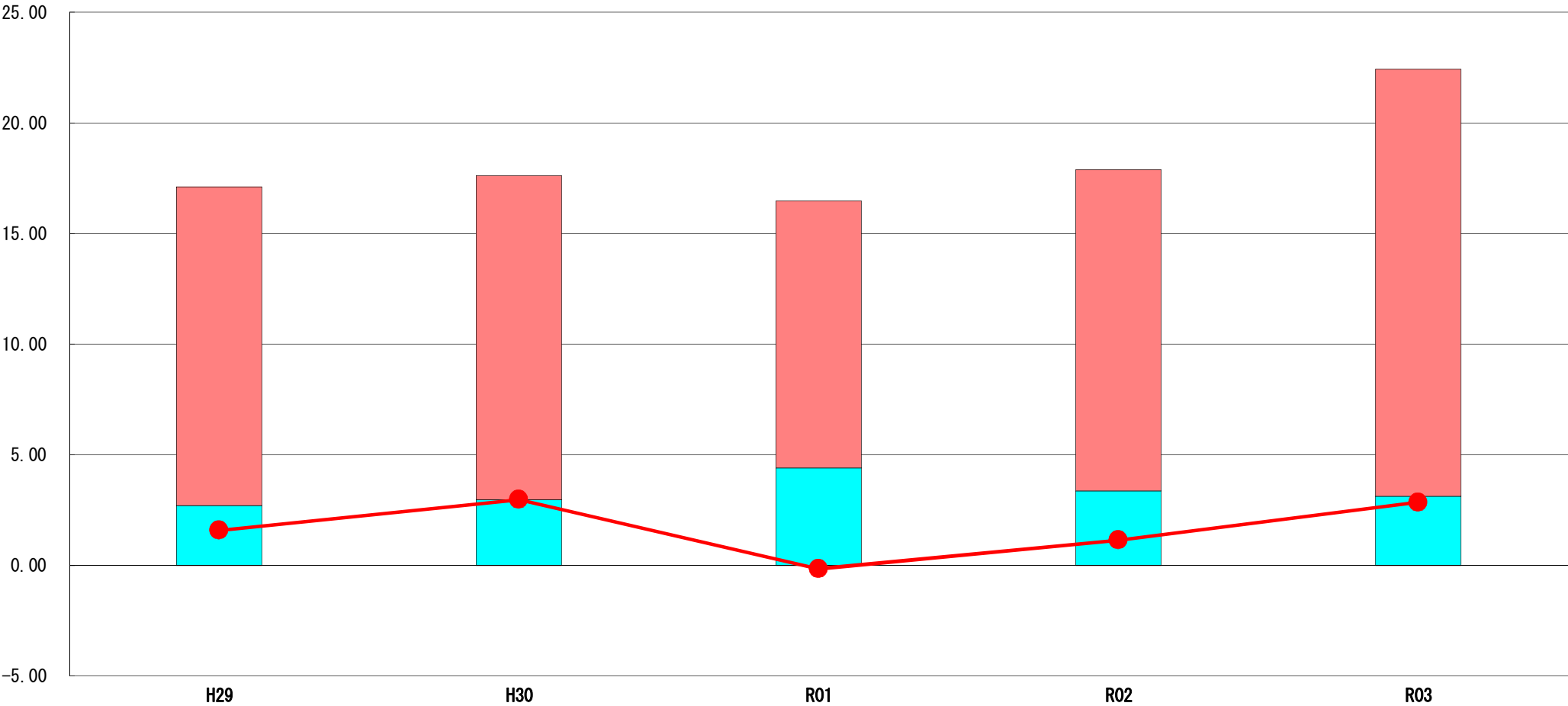
教育費については、学校給食センター改築事業での工事費や、教育情報化推進事業の整備費により増額となっている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和3年度

佐賀県小城市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H29	H30	R01	R02	R03
財政調整基金残高		14.41	14.66	12.07	14.52	19.29
実質収支額		2.70	2.96	4.40	3.36	3.13
実質単年度収支		1.58	2.97	▲ 0.16	1.14	2.85

分析欄

財政調整基金残高は、R1年度に12％に落ちたものの、R3年度は19％に増加している。

実質収支額は、前年度と比較して、標準財政規模に占める割合は0.23％減少している。

実質単年度収支額は、前年度と比較して、標準財政規模に占める割合は1.71％増加している。

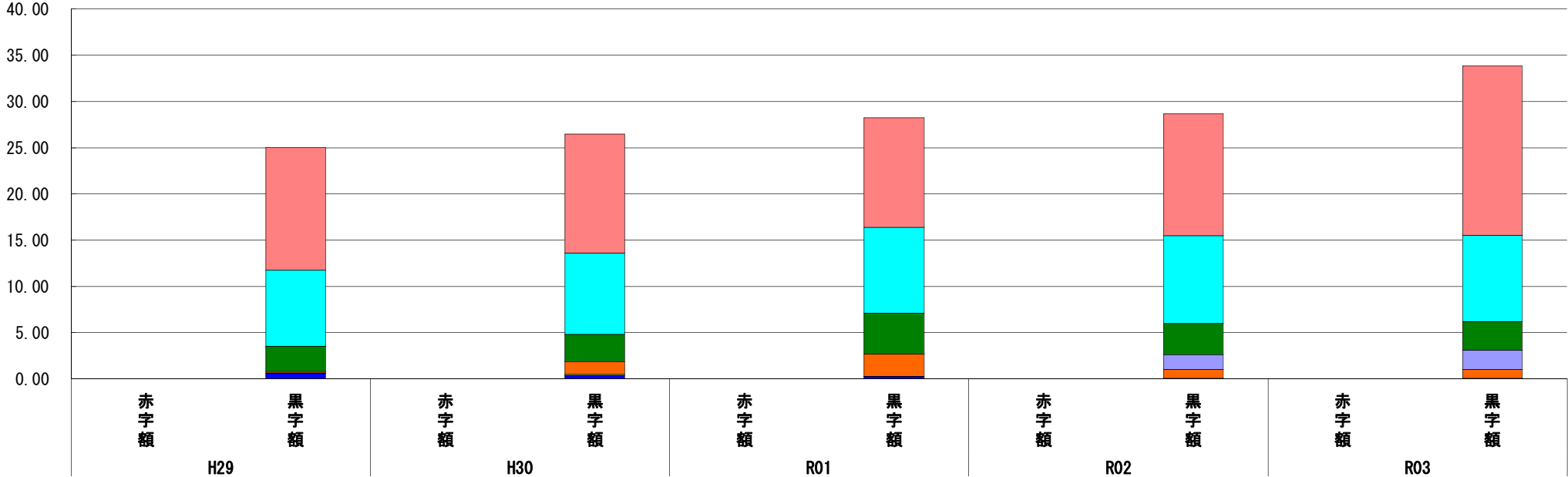
今後も事務事業の見直し・統廃合等歳出の合理化等、行政改革を推進し、健全な財政運営に努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和3年度

佐賀県小城市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度	H29	H30	R01	R02	R03
会計					
病院事業会計	13.26	12.84	11.87	13.23	18.32
水道事業会計	8.26	8.80	9.29	9.46	9.31
一般会計	2.70	2.95	4.40	3.35	3.13
下水道事業会計	-	-	-	1.60	2.06
国民健康保険特別会計	0.15	1.40	2.39	0.97	0.94
後期高齢者医療特別会計	0.06	0.08	0.00	0.07	0.08
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
その他会計（黒字）	0.59	0.40	0.29	-	-

分析欄

令和3年度は全ての会計について黒字であり、赤字は発生していない。
今後も各会計について、健全な事業運営を行ってきたい。

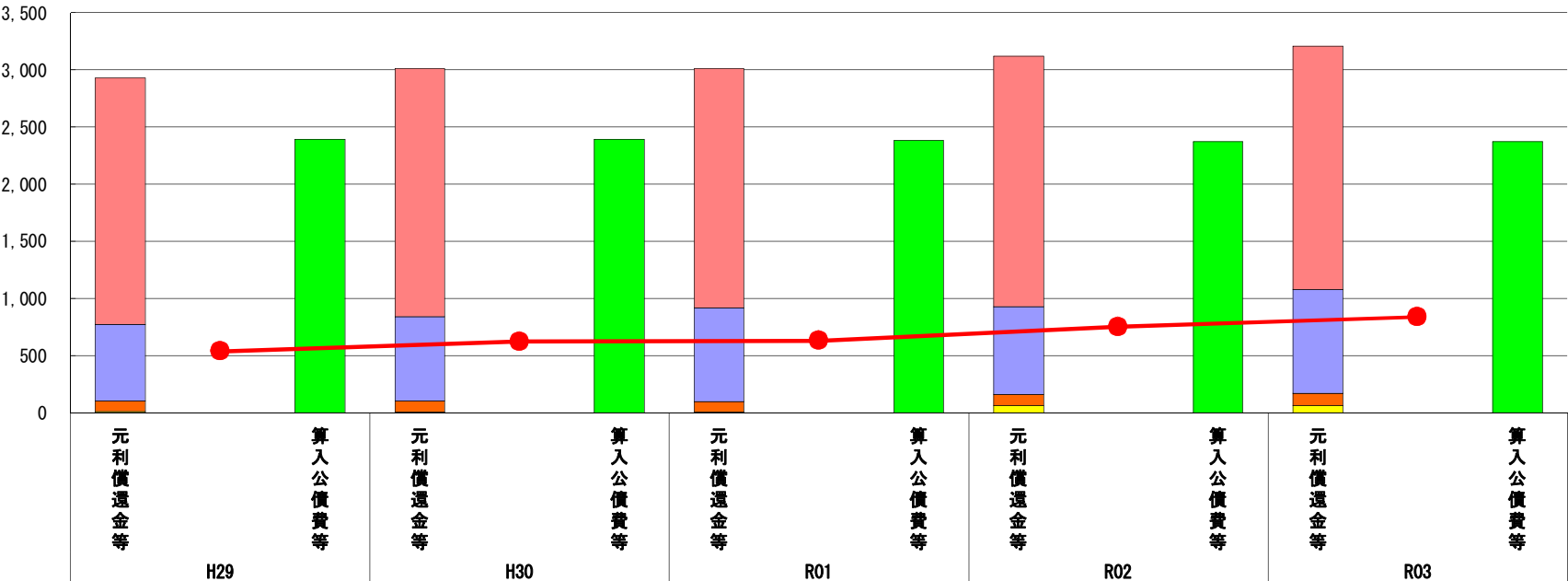
※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

佐賀県小城市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,153	2,172	2,097	2,195	2,134
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		675	742	817	771	906
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		92	94	93	95	109
	債務負担行為に基づく支出額		7	5	5	61	59
	一時借入金の利子		0	0	0	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		2,392	2,392	2,383	2,372	2,371
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		535	621	629	750	837

分析欄
元利償還金は、昨年度大型事業開始の影響で増額に転じていたが、今年度は償還終了事業の影響で減少した。 公営企業債の元利償還金に対する繰入金は、下水道事業実施に伴うものが多くなっている。 今後も施設整備等を予定しており、引き続き繰上償還の実施や償還額の平準化に努める。

※1 令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

(百万円)

分子の構造		年度	H28末	H29末	H30末	R01末	R02末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高(注)						
	減債基金積立相当額						

分析欄
満期一括償還地方債は発行していない。

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

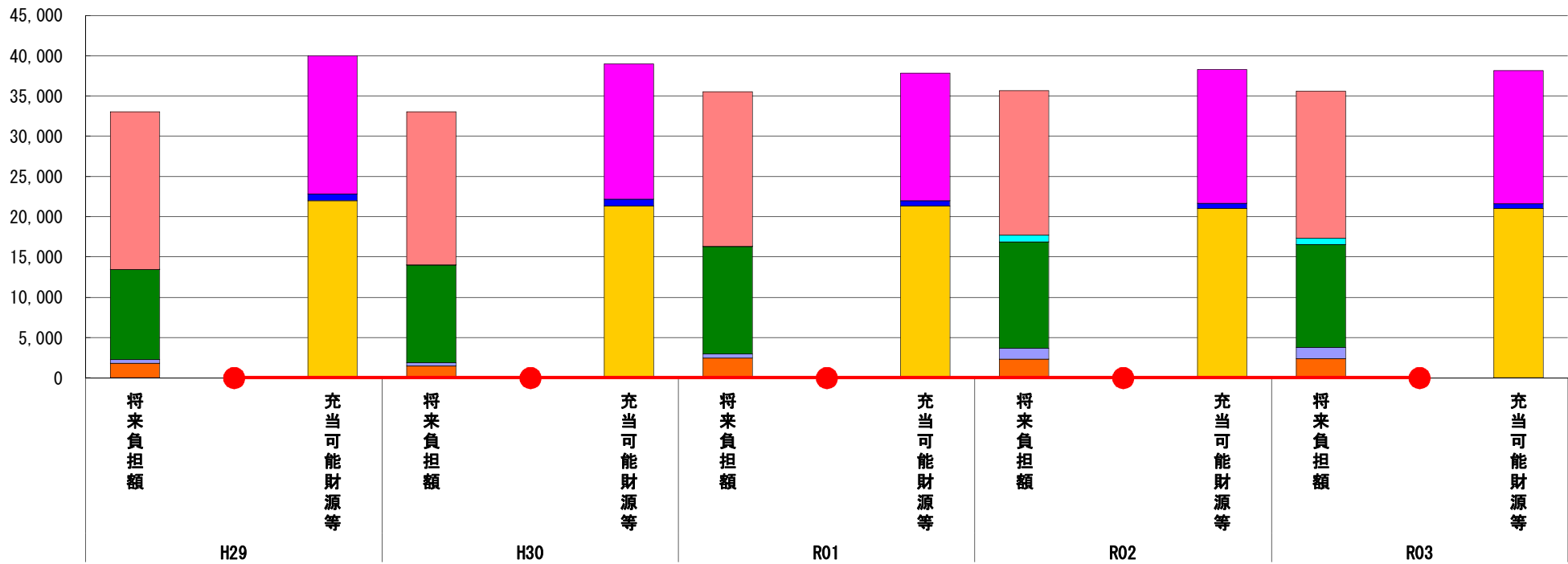
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

佐賀県小城市

(百万円)



(百万円)

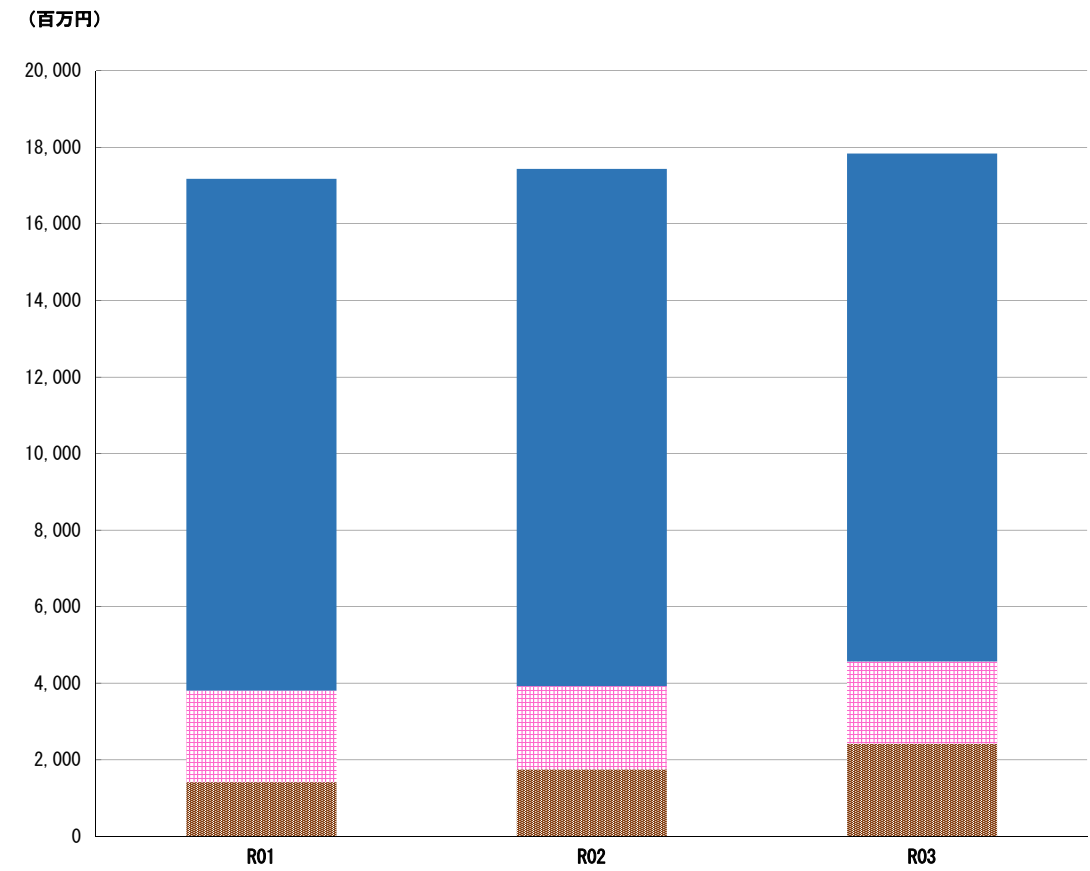
分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		19,591	19,019	19,206	17,963	18,236
	債務負担行為に基づく支出予定額		15	15	10	806	746
	公営企業債等繰入見込額		11,167	12,140	13,354	13,256	12,814
	組合等負担等見込額		458	402	495	1,320	1,375
	退職手当負担見込額		1,798	1,457	2,425	2,314	2,392
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		17,137	16,856	15,875	16,633	16,540
	充当可能特定歳入		860	783	655	644	609
	基準財政需要額算入見込額		21,980	21,360	21,313	21,016	21,013
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 6,947	▲ 5,965	▲ 2,353	▲ 2,634	▲ 2,600

分析欄

将来負担比率の分子については、将来負担額を充当可能財源等が上回っているため、マイナスとなっている。
しかしながら今後、大規模な施設整備が控えており、それに伴って公債費も増加していくものと見込まれる。
引き続き市債の繰上償還等を行い、将来負担額の大きな割合を占める一般会計等に係る地方債の抑制に努め、中長期的な財政の健全化に努める。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



年度		(百万円)		
区分	年度	R01	R02	R03
財政調整基金		1,419	1,754	2,425
減債基金		2,389	2,178	2,150
其他特定目的基金	其他特定目的基金	13,376	13,513	13,270
	鉾害復旧施設維持管理基金	7,343	7,226	7,137
	合併振興基金	2,500	2,500	2,500
	公共施設整備基金	2,029	2,010	2,011
	地域福祉基金	530	530	530
	まちづくり振興基金	376	377	377
基金残高合計		17,185	17,445	17,845

令和3年度	佐賀県小城市
基金全体 (増減理由) 改修工事に伴う鉾害復旧施設維持管理基金を取り崩したものの、財政調整基金を積み立てることができたことにより、基金全体としては400百万円の増額となった。 (今後の方針) 財政調整基金は公共施設の整備や維持管理により、今後減少していくことが予想されるため、財政の健全な運営に資するために適切な残高を確保する。 特定目的基金は、その使途に応じた活用を図り、財政運営の健全化に努める。	
財政調整基金 (増減理由) 普通交付税や各交付金が増額となったことにより、財政調整として取り崩す必要がなくなり、積立を行ったことにより、前年度より671百万円増額となった。 (今後の方針) 当基金は長期にわたり、財政の健全な運営に資するため必要な資金であり、後は決算剰余金を積み立てる等、基金の現在高の確保に努める。	
減債基金 (増減理由) 下水道事業のため取り崩しを行ったこと等により、減額となった。 (今後の方針) 給食センターの改築、国民スポーツ大会に向けた芦刈文化体育館の改修等、現在公共施設の大規模改修が続いており、公債費は増額していくが見込まれるため、今後繰上償還を行う等、公債費の抑制の為、当基金の有効活用を図る。	
其他特定目的基金 (基金の使途) - 鉾害復旧施設維持管理基金：鉾害復旧施設の維持管理及び維持管理に付帯する事業を行う。 - 合併振興基金：市民の連携の強化及び一体感の醸成並びに市の進行を図る。 - 公共施設整備基金：公共施設の整備資金に充てる。 - 地域福祉基金：地域の特性に応じた高齢者保健福祉施策等を施局的に推進する。 - まちづくり振興基金：地域の産業、歴史、伝統、文化等の特色を生かした独創的で地域性豊かな活力あるまちづくりを推進する。 (増減理由) ・鉾害復旧施設維持管理基金 排水機整備に基づく改修工事等に伴い、鉾害復旧施設維持管理基金を取り崩し、残高が減少した。 (今後の方針) ・公共施設整備基金 公共施設の老朽化に伴い、維持補修費及び普通建設事業費等が増加することが予想されるため、公共施設等総合管理計画に基づき、当基金の活用を図る。	

(12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

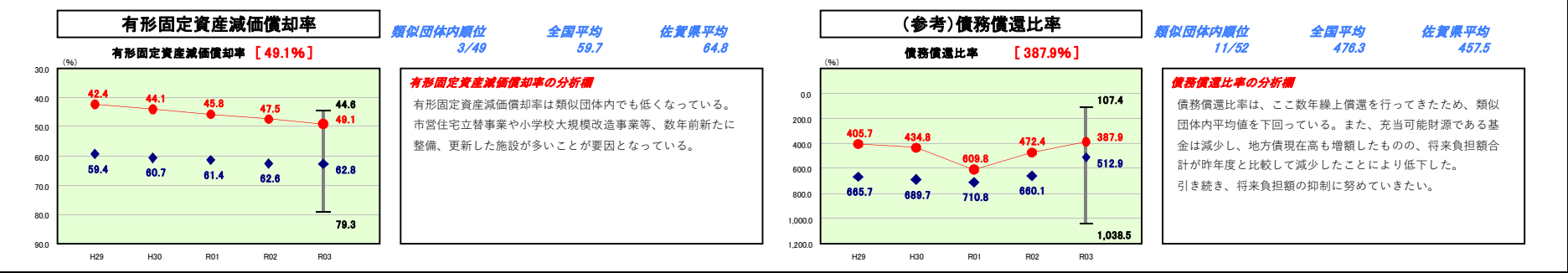
令和3年度

佐賀県小城市

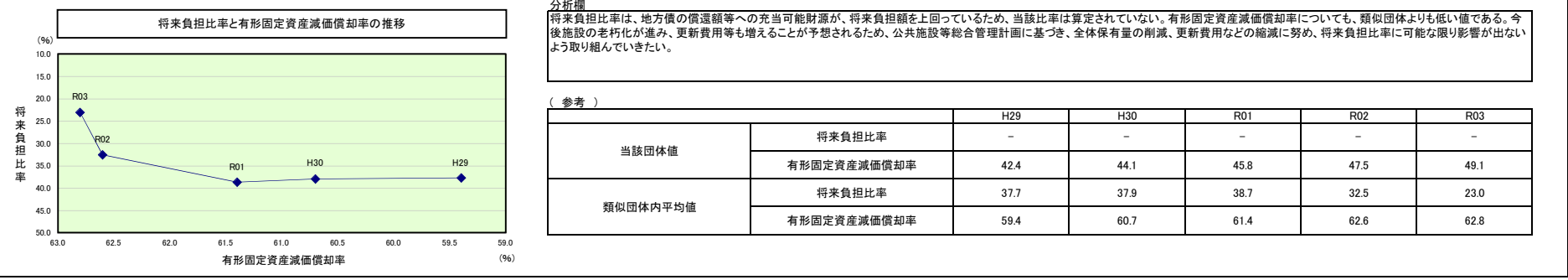
人	口	44,639	人(R4.1.1現在)	突	質	赤	字	比	率	-	%				
うち日本人		44,415	人(R4.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率	-	%		
面積	積	95.81	km ²	実	質	公	債	費	比	率	7.4	%			
歳入総額		25,282,209	千円	将	来	負	担	比	率	-	%				
歳出総額		24,539,030	千円	市	町	村	類	型	H29	I-3	H30	I-3	R01	I-3	
実質収支		393,453	千円	(	年	度	毎	)	R02	I-3	R03	I-3			
標準財政規模		12,569,997	千円												
地方債現在高		18,236,081	千円												



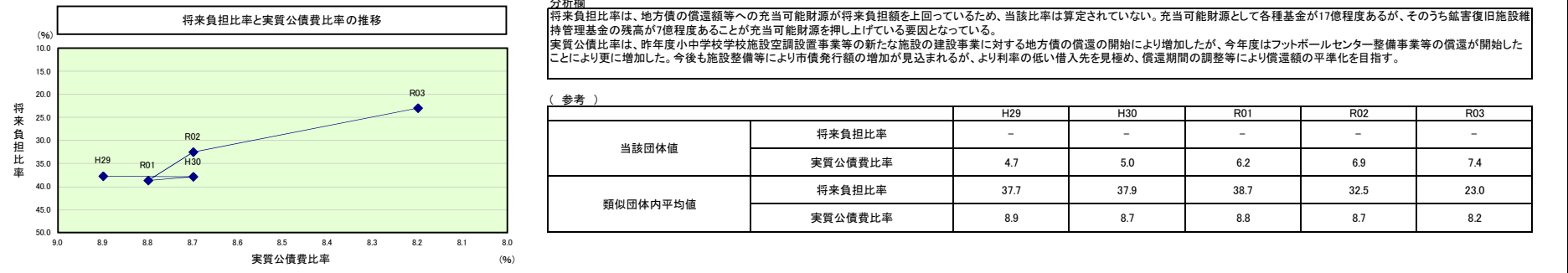
- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析

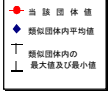


(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和3年度

佐賀県小城市

人	口	44,639	人(04.1.現在)	実	資	赤	字	比	率	-	%	
うち日本人		44,415	人(04.1.現在)	道	結	実	赤	字	比	率	%	
道	民	95.81	人(04.1.現在)	実	資	公	債	負	担	比	率	
歳入総額	千円	25,282,209		得	来	負	担	比	率	-	%	
歳出総額	千円	24,539,030		市	町	村	間	差	H29	I-3	R01	I-3
実収支	千円	393,453		(	年	度	毎	)	R02	I-3	R03	I-3
標準財政規模	千円	12,589,997										
地方債残高	千円	18,236,061										

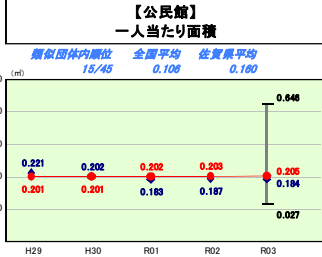
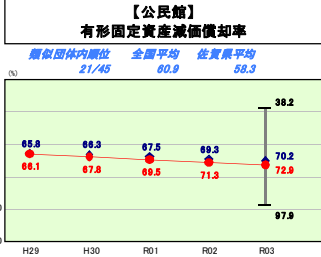
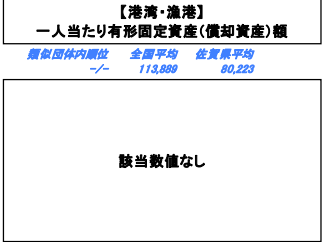
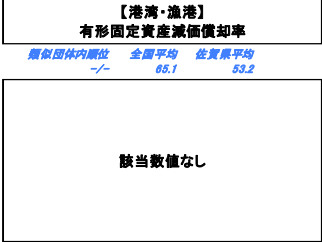
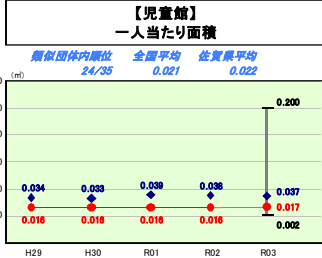
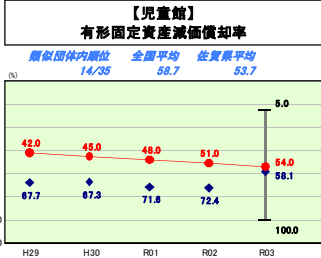
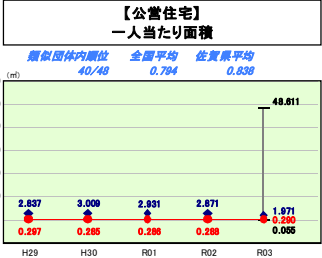
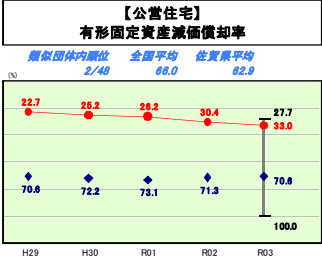
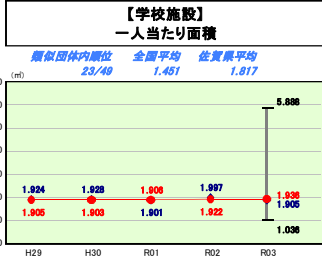
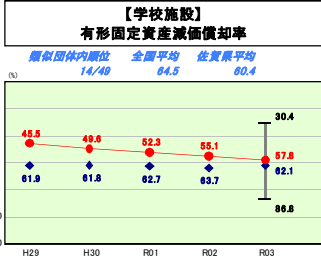
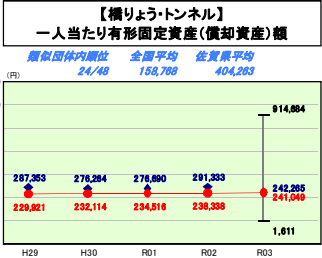
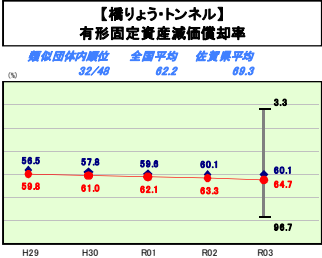
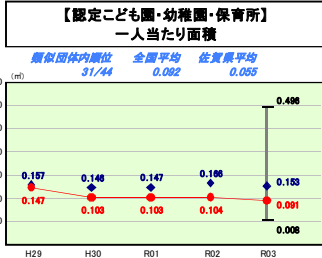
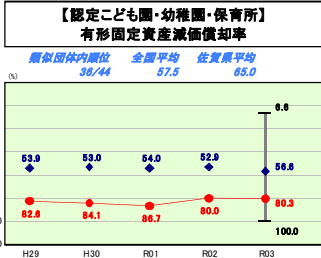
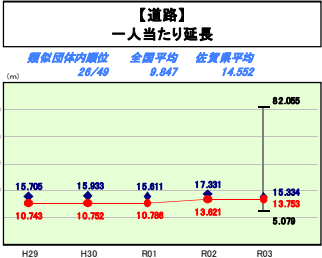
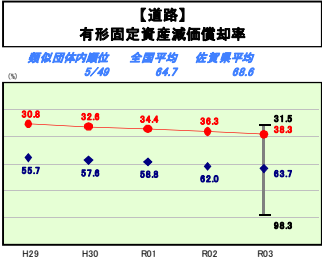


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



施設情報の分析欄

類似団体、全国平均と比較して特に有形固定資産減価償却率が高くなっている施設は、認定こども園・幼稚園・保育所であり、特に低くなっている施設は、道路、公営住宅である。
認定こども園・幼稚園・保育所については、80%を超えており、施設の老朽化が進んでいる。昨年度から今年度にかけて改修工事や設備更新が行われたことにより、昨年度少改善したものの、依然高い水準のため、今後も老朽化対策、全体保有量の調整のため、施設の統廃合や民営化の検討を続けていく。道路の有形固定資産減価償却率は、市道を中心に新設改良を行っていることから低くなっている。公営住宅については、平成26年度から平成29年にかけて市営住宅の建て替えを行っており、有形固定資産減価償却率が低くなっている。
今後は、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の集約化、長寿命化の策定及びこれに基づく予防管理をすることで、全体保有量の削減、更新等費用の縮減に努めていきたい。

(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

令和3年度

佐賀県小城市

人	口	44,639	人(04.1.1現在)	実	資	赤	字	比	率	-	%			
うち日本人		44,415	人(04.1.1現在)	通	結	実	資	赤	字	比	率			
面積		95.81	km ²	実	資	公	債	負	担	比	率			
歳入総額		25,282,209	千円	得	来	負	担	比	率	7.4	%			
歳出総額		24,539,030	千円							-	%			
実収支		393,453	千円	市	町	村	間	差	H29	I-3	H30	I-3	R01	I-3
標準財政規模		12,589,997	千円	(	年	度	毎	)	R02	I-3	R03	I-3		
地方債残高		18,236,061	千円											

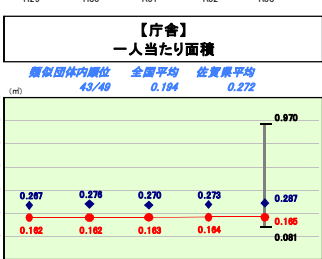
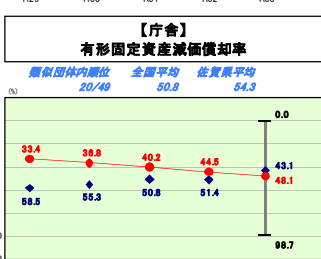
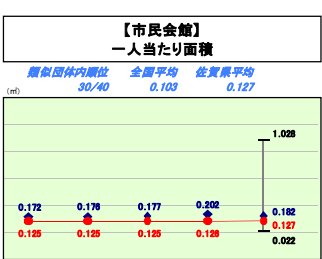
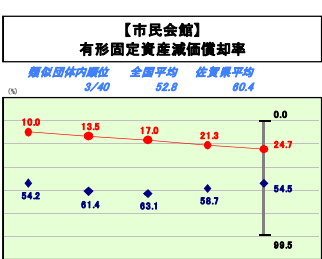
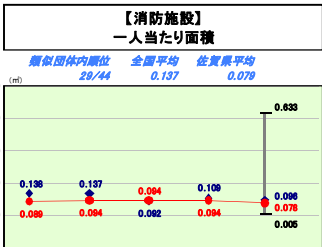
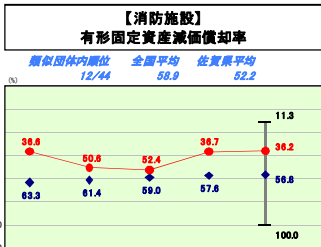
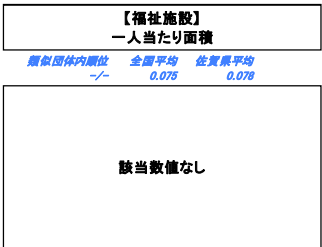
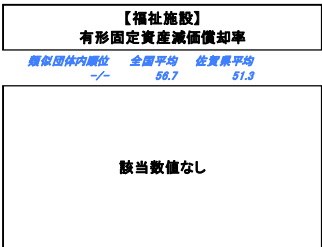
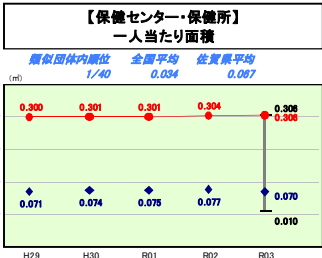
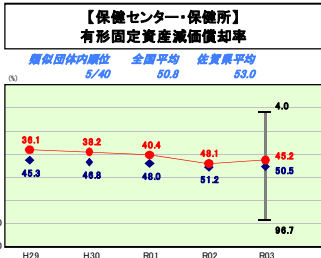
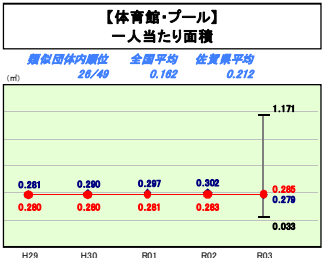
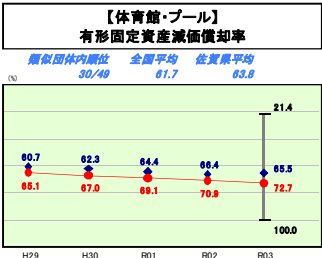
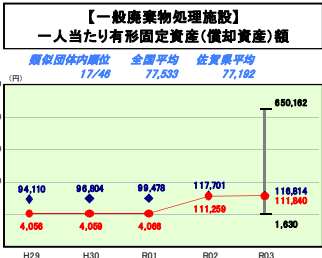
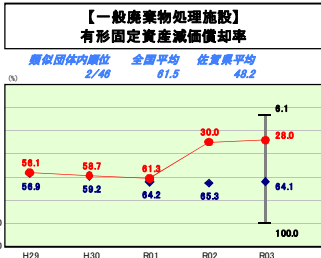
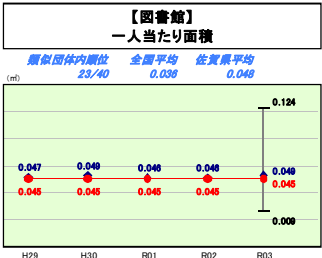
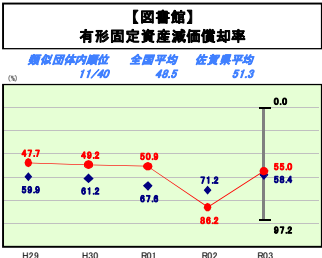


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



施設情報の分析欄

類似団体、全国平均と比較して有形固定資産減価却率が特に高くなっている施設は、図書館、体育館・プールであり、特に低くなっている施設は市民会館である。図書館について、三日月館が平成8年、小城館が平成11年に建設された建物であり、25年以上経過していることで老朽化が進み、様々な修繕が必要となっている。

体育館・プールについては、平成28年に三日月体育館の改修を行ったことにより有形固定資産減価却率が横ばいで推移しているが、その他施設を含め、今後老朽化対策が必要となってくる。市民会館については、平成27年度にまちなか市民プラザを建設したため低くなっている。

また、保健センターについては、類似団体、全国平均と比較して、一人当たり面積が大きく上回っている。これは、本市が4町を合併して発足している市であり、旧4町それぞれに所在していた保健福祉センターが新市になった今でもそのまま残っているためである。R4年度以降はうち1施設が保健福祉センターとしての利用を終了するため、減少すると考えられる。今後は、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の集約化・複合化の検討、長寿化計画の策定及びこれに基づく予防管理をすることで、全体保有量の削減に努めたい。